

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★9/26 木に合同会社 ALL HEROs 代表

中山 芳一（なかやま よしかず）先生が再び本校に！★

★演題 『非認知能力とエージェンシー

～自律した学習者になるために失敗から学ぶ～』★



中山芳一先生による「第1回 SAH 講演会」は3/7 火に開催されました。その講演会の反響もすごかったですが、再び中山先生による9/26 木の「第2回 SAH 講演会」を聞いた2,3年生にもさらなる発見があったようです！講演内容をこの場で語らなくても生徒の感想文から十分伝わると思います！感想文は「全文」ではなく「一部抜粋」となっております。ご了承くださいませようお願い申し上げます！はじめて聞いた1年生にも、2回目の上級生の胸にも刺さりまくっています！（文責：教頭 星野 亨）

「頭のよい人」が学力のある人だけでなく、「粘り強くたくましい人」「他者を思いやる優しい人」「前向きな人」など、どの人も素敵だと思いました。私は欲張ってどの良さも持つ人でいたい。また、私が心に残った言葉は「生き残ることができるのは、変化できる者である、変化の波に乗っちゃえ！」という言葉です。私は新しい環境へ変わると不安になったりうまくなじめなかったりすることがあります。だからこの言葉を信じて変化を恐れないようにしたいです！これからの生活では自分の意識を変えてやがて運命も変えちゃおうと思います！  
1年 新井 稀唯

「非認知能力」にはたくさんの種類があり、それぞれメリット・デメリットがあることを知りました。「非認知能力」はあるだけよいと考えていたので目からウロコでした。また、今までの「体験」をこれからは「経験」に変えていくことが今回の講演でいちばん心に残った言葉です。これから生きていく上でたくさんの失敗をしたいと思います、恐れずに失敗を振り返りながら生きていきたいと思いました！  
1年 森川 心晴

私は変わっていく社会でもしっかり生きていきたいと思いSAH 指定校であるこの学校に入学しました。私はとても慎重で絶対に失敗や間違いをしてはいけないと思って過ごしていました。また、絶対に人に嫌われないようにアンチを作らないように過ごしていました。でも中山先生に失敗することに意味がある、人に嫌われてもいいと教わり、自分を見つめ直すべきだと実感することができました。  
1年 河原 尊流

私は「頭がよい人」とは知識が豊富で成績がよい人のことを指すのだと思っていたが、それだけではダメなのだを知れた。非認知能力の高い人の大半は自己実現ができていて、好奇心・楽観性・冒険心・柔軟性・持続性をもっていることがわかった。私にはまだ足りない部分が多くあるのでいろいろなことに触れ、体験し、得られた経験値をまた次に生かすなどして、能力を養い、自己実現ができる人になれるよう努力していきたい！  
1年 狩野 花奈

今まで「非認知能力」は社会に貢献するために必要となる力という認識だったけれど、変化の波に乗り、幸福度を高めるために必要な力、つまり幸せになるための力という認識に変わりました。また、「エージェンシー」について私はゲームのようだと感じました。戦いの終わりに経験値を得てレベルアップするように「体験」を「経験」として自分のものにしてレベルアップしたいです。そしてたくましく、前向きでやさしい頭に進化していきたいです！  
1年 高橋 伶弥

今回のお話を聞くまで「失敗」という言葉はネガティブなことしか受け取っていなかったけれど、「恐れることでも落ち込むものでもない」というポジティブなものに変化しました。また、自分のこれからは自分で考えていくということや、行動力や自主性を高めることはとても大切だということも自分の中で導き出すことができました。今回の講演でメモ用紙の枠からはみ出すくらいに自分に取り込むことができ、とても嬉しかったです。これからは活用していけるよう自分にしっかり向き合おうと思いました！  
1年 中里 美月

自分と向き合う力、自分を高める力、他者とつながりを持つ力などがあるが、体験、失敗、振り返り、そして経験へとつながる「エージェンシー」は、誰にでも起こる「ミッドライフクライシス」を脱却するためにもとても大切な考え方だと思いました。この変化の激しい波に押されず、自分から新しいことに挑戦したり、それに失敗してもなぜ失敗につながってしまったのかを考え、改善点を見つけ何度も行動を起こすことがとても大切だとわかりました！ 2年 松本 蒼祐

2回目のSAH講演会で、昨年度の内容の復習を含め、「非認知能力」というものについて深く知ることができたと感じました。「Agency」についての内容で「失敗しても振り返る」「意味のない失敗はない」という内容に感銘を受け、失敗を恐れて行動しないのではなく、失敗することを気にせず、責任をもって行動していこうと思いました。体験を経験に変え、そこから学び、自分で自分を変えていく、そんな人間になれるように努力していこうと深く思うことができました！2年 長井 清志郎

「エージェンシー」は変化を起こすために自分で目標を高く設定し、失敗しても振り返り、責任をもって行動する能力であると学ぶことができました。特に「挑戦」「経験」「学び」「考える」のサイクルが大切であると感じました。失敗してもよい環境がある上でそのサイクルが成り立つと思うので、積極的に挑戦していきたいと思います。また、何事も継続しないとわからないし、成果も得られないので「挑戦」と「持続」は同じくらい大切なものであると感じました！ 2年 大山 周悟

昨年度、日記を書くことが大事だということをお話しいただいて、その日から毎日日記をつけるようになり、自分の生活を見つめ直すことでより充実した日々が送れるようになったと感じています。人との関わり方だったり、AIとの付き合い方だったり、とても勉強になりました。本当の意味で頭のよい人間になれるように今回お話しいただいたことを意識して1日1日を大切に生活していこうと思います！ 2年 松原 優心

自分がやりたいと感じたことは何でも行動に移してみようと思うことができました。不安なこととか心配なことがたくさんあるけれど、「偶然」でさえも味方に変え、誰かのために役立つ頭のよい人間になりたいです。常に夢とやる気をもって、自分自身の「well-being」が社会全体の「well-being」になるよう心がけていきたいです。自分の失敗を学びに変え、さらに自分と向き合えるようにします。 2年 高橋 愛

何度聞いても引き込まれるような面白い講演で、自分のためになったと実感しました。生徒会として多くの活動をさせていただき伴う責任に押しつぶされそうになったことが何度もありました。そんなときこそ責任を与えてくださった環境に感謝し、「今」を楽しんでいきたいと思えました。「失敗には必ず意味がある」、この言葉を聞いて、これからも変化を起こそうとする行動を恐れないようにしようと感じました。そして「失敗したからこそ得られたものがある」と考えられるようにしていきたいです。前橋南高校がさらによくするように頑張っていくので応援していただけると嬉しいです！ 2年 腰高 紗依

SAHの指定校になったのをきっかけに「非認知能力について分からないなりにまずはやってみよう」と考え、まず行ったのが「アイスの自動販売機の提案」です。たった1枚のプレゼン資料から始まった交渉は至らない点も多く、反対や心配の声が多く上がりました。失敗する度に、どこがダメだったのか、次はどうするかなどの話し合いと振り返りを重ね、ついには管理職の先生方から「文句のつけようがない」とのお言葉をいただきました。このプロジェクトの流れは講演でおっしゃっていた「エージェンシー」のピラミッドに通じるものがあり、私たちの「非認知能力」を伸ばしたと断言できます。また、たくさんの「偶然」もありました。「非認知能力」を発揮する際にこの「偶然」も私たちの追い風となりました。大学に入ってから、その先の人生でも「非認知能力」を伸ばしながら活用して、新しいことにチャレンジし続けていきます！ 3年 関 凜音

受験生である私たちにとって、この講演会はとても大切な時間だったなと思いました。今こそ私は「自分と向き合う力」と「自分を高める力」を強めるべきだと強く感じました。毎日なんとなく過ごしたならば何の変化もなく過ぎるだけなので、常に実現可能な小さな目標を立てて向上心も高めながら生活していきたいです。やらずに後悔するよりもやって失敗した方がよっぽど自分のためになると思います。今の時期は私の長い人生のなかでもかなり重要なときだと思うので、今日得た知識と感じたことを胸に、もっと「エージェンシー」を高めて、たくさん自分で悩んで考えて、失敗して学んで、充実した毎日を送りたいです！ 3年 井上 穂風

「教育に関わる人はみんなヒーロー」という意味が込められている「ALL HEROes」という会社名には中山先生の信念を感じました。最近色々うまくいかないことが多く、自分に問題があるのだと思って気分が落ち込んでしまうことも多かったですが、「失敗には必ず意味がある」を自分に言い聞かせて何度も何度も挑戦して、失敗して、振り返って、を繰り返していきたいと思います。まずは意識を変えて、最終的には運命も変えたいです。今の私には好奇心、楽観性、冒険心、柔軟性はあると思うのですが、持続性が欠けているので、それを鍛えて「偶然」を味方につけ、そして自分がやりたい夢と誰かのためにやりたい夢の両方を叶えて幸せに生きたいと思いました！ 3年 浦部 咲乃心

今回の講演会を聞いて「非認知能力」の解像度を上げることができました。高校3年生になって行きたい大学に進学するために今限りある時間をどう過ごすべきか考えさせられました。私は将来像がふわふわしていて大きな夢がないことを不安に抱いていましたが、夢というものは職業に限らず、やりたいこと、食べたいもの、すべて当てはまるの話を聞き、夢は身近にあるのだと分かりました。小さな自己決定の積み重ねで自分が形成されていき、誰かのための行動は回り回って自分のためになるのだと思いました。受け身のまま過ごすのではなく、人生の主人公は自分だ、幸せになる努力をしなければならないと学びました。まわりの人の幸せは自分の幸せにもつながると思うので、どうやって周りの人を幸せにしたいか今後考えていきたいです！ 3年 小野 真央

各学年6名分ずつ選ぶ予定だったのですが、受験期真っ只中の3年生にとっては「当事者意識」がとても高く「抜粋」してはいるものの「長め」となってしまう、4名分しか掲載できず、申し訳ありません！ここに掲載していない感想文も含め、みなさんの感想文は中山先生に郵送します！中山先生からいただいた種からそれぞれの「芽」が出るといいですね！（文責：教頭 星野 亨）

★校長より★ 中山先生の講演を一人一人がしっかりと受け止めてくれたことが分かり、とても感心しています。皆さんは将来、大きく変化をする社会の中でAI等のテクノロジーを取り入れながら社会課題を解決していく生活を送ると予想されています。これは前例の無い社会です。当然、「失敗」を経験することになるでしょう。ですから、エージェンシーを高める必要があるのです。皆さんが将来、力強く社会を生き抜いていくためにSAHを実施しています。皆さんには「失敗には必ず意味がある」という信念を強く持てるよう、高校生活の中で様々な挑戦と失敗を経験してもらいたいと思います。今年度も皆さんから出された学校のwell-beingに関する企画で良いものは、検討し、皆さんの力で実現する方向を進めていきたいと考えています。これは皆さんの学校への参画です。失敗してもそこには必ず意味があります。校長室で待っています。 校長 原 拓史